

令和 4年 5月 23日

長泉町議会議長 井出春彦 様

会 派 名 新緑

会派代表者氏名 杉森 賢二 

会派調査研究・研修報告書

このことについて、下記のとおり会派調査研究・研修を実施したので、報告いたします。
記

調査研究・ 研修者氏名	宮口 嘉隆 井出 春彦 杉森 賢二 堀内 浩
調査研究・ 研修月日	令和4年5月11（水）～令和4年5月13日（金）
調査研究・研修地 及び事項	(1) 目的地（公益財団法人『人と動物の未来センター』Amitie”アミティエ”） 日 時 令和4年5月11日（水）午後2時～3時30分 内 容 動物愛護を目的とした施設の開設経緯と殺処分をなくすために 様々な取り組みを行っている。
	(2) 目的地（島根県出雲市議会 現地集合 ） 日 時 令和4年5月12日（木）午前10時30分～11時30分 内 容 出雲大社周辺のまちづくりについて（街並み環境整備事業） 内 容
	(3) 目的地（新出雲エネルギーセンター ） 日 時 令和4年5月12日（木）午後1時30分～3時 内 容 出雲市次期可燃ごみ処理施設建設運営事業について 出雲市地域新電力事業について
	(4) 目的地（島根県庁・県議会 ） 日 時 令和4年5月13日（木）午前10時00分～12時00分 内 容 島根県議会議事堂見学
調査研究・研修地 内容等	別紙のとおり (1) 内容 (2) 現状 (3) 町行政との相違・留意点と、研修成果による提言 (4) 添付資料



(内容) 2013年9月に、動物愛護施設として、「人と動物の未来センター"アミティエ"」を開所
開設以前に県に支援の要請をお願いする中、先ずは施設を開所することが先決との思いから、理事長
である山根義久氏が私財をなげうって開所したといういきさつがありました。
2014年4月より鳥取県との連携が始まり、「鳥取県動物愛護センター」の名前も加わり本格的に動物
愛護施設としてスタートしました。県内の保健所より引き取った犬や猫は獣医師による健康診断及び
治療を行い、去勢・不妊手術・マイクロチップ挿入・ワクチン接種など適切な処置を行った後、
月1回の譲渡説明会アミティエフェスタを開催し、新しい飼い主さんを探す活動を行っています。
施設内の整備拡充のために「クラウドファンディング」を行って、これまでに第2ドッグランや猫用の
保護スペースを建設し動物が快適に暮らせるよう配慮しています。また、施設の運営にはボランティア
は欠かせない方々であり、その他にも「チャリティーコンサート」「わんわん運動会」「ペット無料
相談」「犬のしつけ方教室」などを開催し動物愛護への理解と協力を求めています。
(町行政との相違点・留意点)
人に寄り添い癒してくれる動物にも感受性のある生命存在です。未だに殺処分が常態化していること
を変えなければなりません。
(研修成果による町行政への提言)
たとえ一時であっても不要とされた犬猫が、新たな家族が見つけれその生涯を全うでき、
そして、"命の大切さ"を教えてくれる。理想とされる施設ではありますが、幾つかの大きなハードル
を乗り越え実現できたのが「人と動物の未来センター"アミティエ"」です。近隣市町及び県との連携が
必要とされますが、町として、町内の動物病院との連携の中から打開策を見出さればと思います。
(添付資料)
やまね病院 院長 高島様
担当：堀内

出雲大社周辺のまちづくりについて（街並み環境整備事業）について 担当／すとう
令和4年5月12日（木）10時30分～11時30分
会場：出雲商工会・出雲大社周辺地区（商店街）
担当部署：出雲市都市建設部 都市計画課 街路整備室
出雲大社周辺のまちづくりについて（街並み環境整備事業）について 担当／すとう
出雲大社周辺地区街なみ環境整備事業について
目的：下土狩周辺等、町内の人が集まる歩道の確保、景観など環境整備に役立たせるため
出雲市は合併を行い現在17万人。2千人増加で、中心部が増えている。外国人が5千人と
多く、4千人がブラジル人と言われている。村田製作所も存在する。
駅伝やクロスカントリーお誘致を行い、街なみ環境整備を10年間行ってきた。
まちづくり推進課まちづくり推進室・街路整備室を設置し、この事業を進めてきた。
交通広場もオープンし、駐車場でイベントなどを行っている。
・質問事項及びその回答別紙
・出雲大社周辺のまちづくりについて別紙参照
21世紀出雲のグランドデザイン・新たな出雲の国づくり計画「出雲未来図」
交流人口1千万人達成を目指し整備を進める。
町なみ街路整備で、無電柱化、道路美装化、街路灯取り付けを実施。
真名井の清水整備や、真名井小公園整備、建物修景助成により25件実施。
住民合意形成に向けた取り組みを行う。
アンケート調査の実施。238世帯に対しアンケートを行い回収率72.7%
住民意見を取り入れた計画づくり
ワークショップを開催。H22年6回行い、整備計画をつくる。
神門通りのデザイン 路面は御影石を使用。
景観にも配慮し、歩道を広く確保し、散策しやすい工夫がなされている。
人が集まり、過ごしやすくするための、またお店に立ち寄ってもらえるための工夫が
なされていた。住民も、観光客も行きたいと思えるような街づくりが必要で、
町でも参考にしたい。
担当：杉森

出雲市次期可燃ごみ処理施設建設運営事業・出雲市地域新電力事業について
令和4年5月12日（木）10：00～11：30
会場：新エネルギーセンター
『カーボンシティへの挑戦』 出雲市地域環境部 環境政策課 カーボン推進室
ビューティフルいずもビデオ上映
飯塚市長が脱炭素宣言を行い取り組みをスタート。2021年5月27日（施政方針）
環境政策課内に再生可能エネルギー「ゼロカーボン推進室」新設3名体制。
エネルギーセンター（エネセンを引き継いで新エネルギーセンターを計画。
公設公営PFI検討 プラントメーカー8社アンケートを実施。
JFエンジニアリング・JFE・エイトコンサルが参加。検討委員会を進める。
地域新電力として、役所や学校、公民館に配給を行う。
余熱を使って発電し、省エネ技術を使って売電を実現する。
地域新電力会社を設立する。いずも縁結び電力会社
2021年7月19日・出資金5千万円 株主：出雲市・JFEエンジニアリング(株)
(株)エネルギー・ソリューション・アンド・サービス・(株)山陰合同銀行
再生可能エネルギーの地産地消を通じた事業により、地域の脱炭素化・省エネルギー化と
地域経済の活性化の好循環生み出すことを事業目的に、再生可能エネルギーによる電力
供給事業をスタート。
売電により、出雲市内一般家庭の電気料金基本料金を安くしている。
今後の町の課題である、エネルギー事業の参考にし、低炭素社会の実現はもちろん、
共同整備も考え、新エネルギー活用に向けて計画をしていきたい。
※縁結びのまち出雲 ゼロカーボンシティへの挑戦 資料参照
担当：杉森

様式5

[illegible]